

「南海トラフ地震とその備え in みやざき」を開催

～「宮崎が直面している地震のリスク」と「地震保険」について講演～

一般社団法人日本損害保険協会九州支部宮崎損保会（会長：鍋山 大輔 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 宮崎支店長）では、2023年12月17日（日）に「南海トラフ地震とその備え in みやざき」を宮崎県・宮崎市および宮崎県損害保険代理業協会の協力のもと、宮崎市内のホテルで開催しました。

開会に際し、当会九州支部事務局長 山本から、「前回の南海トラフ地震とされている地震の発生から約80年が経過しており、地震がいつ起こってもおかしくない切迫している状態であると考えられている。本日の講演を受講いただき、地震発生の際、皆さま方には、正確な知識のもとで、率先して避難行動をとっていただきたい。」と挨拶がありました。

講演では、京都大学防災研究所 宮崎観測所の山下 裕亮 助教から、「長く揺れるときは津波を伴う大きな地震が起こっている可能性が高い。弱くても長く揺れたら避難スイッチを入れてほしい。」等、講演がありました。

続いて山本事務局長から、「火災保険では、火災のほか、風災や落雷、契約内容によっては洪水や高潮などの自然災害を補償するが、『地震・噴火・津波』による損害は補償されない。震災後には、被災者の生活を支えるために迅速な支払いを行っている、地震保険の加入を検討いただきたい。」等、講演がありました。

受講者からは、「地震のメカニズムが分かった。皆に伝えます。」や「保険を一度見直してみます。」等の声が寄せられました。

宮崎損保会では、宮崎県や宮崎市および関係団体とも連携し、宮崎における正しい地震リスクの認知およびその備えについて啓発して参ります。



山本事務局長による開会挨拶



山下助教による講演

～「南海トラフ地震とその備え in みやざき」～

日 時：2023年12月17日（日） 13時30分～15時30分

場 所：宮崎グリーンホテル 2階 大会議室

講演① 「宮崎が直面している地震のリスク ～日向灘地震と南海トラフ地震～」
京都大学防災研究所 宮崎観測所 助教 山下 裕亮 氏

講演② 「備えて安心 地震保険の話」
一般社団法人 日本損害保険協会 九州支部 事務局長 山本 周

<主催>日本損害保険協会宮崎損保会 <協賛>宮崎市 <後援>宮崎県、宮崎県損害保険代理業協会